

# 「第7期柏市高齢者いきいきプラン21」 政策目標1

いきいきとその人らしく  
暮らせるまちづくり

# 政策目標(1) いきいきとその人らしく暮らせるまちづくり

## 第6期プランの政策目標 1 (6期プラン P22より)

この目標は、基本理念の「その人らしく」「いきいきと」暮らせるまちの実現に向けたものです。全ての高齢者が、いきいきと前向きに尊厳を持って過ごすことができるよう、環境の整備や活動の支援に取り組みます。これまでの人生で培った豊かな知識や経験、能力を社会の中で発揮できる機会や場所の整備を進めます。こうした社会参加や地域との交流が高齢者自身の健康づくりとなるものでもあります。

また、健康づくり・介護予防の施策に多くの高齢者に参加していただき、健康寿命の期間を延伸し、いきいきとその人らしい生活が継続できるよう取り組んでいきます。

### 政策目標1

### 重点施策

いきいきと  
その人らしく  
暮らせるまちづくり

- 1 多様な社会参加の推進
- 2 高齢者の居場所づくり
- 3 健康づくりの推進

## 実績・評価

※実績・評価の詳細は資料2(A3版)参照

### 1 多様な社会参加の推進

- ・就労・社会参加促進事業を柏市生涯現役促進協議会にて実施。また、地域の活動支援拠点としての地域いきいきセンターを2箇所増設
- ・「健康とくらしの調査」では、ボランティア、スポーツや趣味のグループに参加している人の割合が増加
- ・ボランティア数は、介護支援サポーター等の指標や「健康とくらしの調査」をふまえると、着実に増加

### 2 高齢者の居場所づくり

- ・生活支援体制整備事業の推進により、様々な「居場所」が増加
- ・支えあい推進員が市内20地域に配置され、「居場所」活動の推進が図られる環境が整いつつある。

### 3 健康づくりの推進

- ・市等が主催する介護予防講座に取り組む人が増加
- ・自主的に介護予防に取り組むグループの育成に取り組んでおり、目標を上回ってグループ数が増加
- ・サロンや自主グループ等へ講師派遣等で支援を行い、フレイルチェック等により地域ぐるみの介護予防活動に取り組んでいる。
- ・新たな生活支援サービス(訪問型サービスA・B)を構築

## 課題

※課題の詳細は資料2(A3版)参照

### 1 多様な社会参加の推進

- ・就労場所の拡大を図り、よりたくさんの就労機会の創出が必要
- ・高齢者の生活満足度が向上するような、多様な社会参加の促進が必要
- ・新たな地域課題に取り組むボランティア団体等の育成が必要
- ・個人で登録するボランティアの増加に伴い、多様なニーズに合わせた活動場所等の確保及びコーディネートが必要

### 2 高齢者の居場所づくり

- ・様々なタイプの「居場所」の効果を継続的に評価する仕組みが必要
- ・身近な「歩いていける」場所での展開の充足及び様々な状況の高齢者が利用しやすい環境整備が必要
- ・既存の介護予防事業の取組みや、運営側の負担の少ない効果的な展開の検討が必要

### 3 健康づくりの推進

- ・様々な主体的な取組みが継続するために、事業の参加の効果をわかりやすく示すとともに、フレイルチェックを活用し、取組みの効果を継続的に評価していく仕組みが必要
- ・訪問型サービスA・Bについて、ケアマネジャーに周知し利用促進を図ることが必要

# 政策目標(1) いきいきとその人らしく暮らせるまちづくり

## 第7期プランの政策目標(案)

この目標は、基本理念の「その人らしく」「いきいきと」暮らせるまちの実現に向けたものです。全ての高齢者が、いきいきと前向きに尊厳を持って暮らすことができるよう、**よりニーズに沿った社会参加の機会やきっかけの提供、環境の整備を行います。**これまでの人生で培った豊かな経験や知識、能力を社会の中で発揮できる基盤**が作られ**、社会参加や地域との交流**が進むこと**で、高齢者自身の健康づくりとなるものでもあります。

また、**より多くの高齢者が健康寿命を延伸できるよう、フレイル予防を通じた、様々な健康づくり・介護予防活動に取り組みやすい環境を地域ぐるみで構築し、いきいきとその人らしい生活が継続できるよう、取り組んでいきます。**

### 政策目標1

いきいきと  
その人らしく  
暮らせるまちづくり

### 重点施策

- 1 多様な社会参加の推進
- 2 高齢者の居場所づくり
- 3 **フレイル予防**の推進

# 政策目標(1) いきいきとその人らしく暮らせるまちづくり

## 第7期プランの方向性(案)

### 1 多様な社会参加の推進

○セカンドライフ応援事業は、28年度より厚労省職業安定局の委託を受けて「生涯現役促進地域連携事業」に継承され、市、商工会議所、シルバー人材センター、ハローワーク、社会福祉協議会等による協議会を組織し、高齢者の就労を中心とした社会参加の促進のための連携・情報共有を行っています。

同協議会では、「仕事の開拓」「就労セミナー」「相談窓口(パレット柏内)」「WEBサイトによる発信」の取組みを行っています。

今後これらの取組みをさらに充実させ、就労を希望する高齢者の支援を進めます。

○また、高齢者のボランティア活動等については、活動者のニーズを的確に捉えながら活動領域の拡大に努めるとともに、コーディネート能力の向上等、中間支援機能の充実に向けた取組みを進めていきます。

○就労、ボランティア、趣味の活動など多様な社会参加により、高齢者自身の生きがいや健康づくりに効果を得ることはもちろん、経験や知識を活かして、地域の様々な分野の課題解決が図られるために、第7期プランにおいても、関係団体が連携しながら、高齢者がいつまでも生きがいをもって、活躍できるまちづくりの取組みを進めていきます。

# 生涯現役促進地域連携事業

## 柏市生涯現役促進協議会

高齢者等の就業機会を確保するため、公民学の関係機関が連携し、必要な協議を行う。  
また、事務局員を雇用して必要な事業を実施していく。

事務局：柏市生涯現役促進協議会  
構 成 者：商工会議所，沼南商工会，社会福祉協議会，シルバー人材センター，東京大学IOG，柏市，一般社団法人セカンドライフファクトリー，日本政策金融公庫

## 事業コンセプト

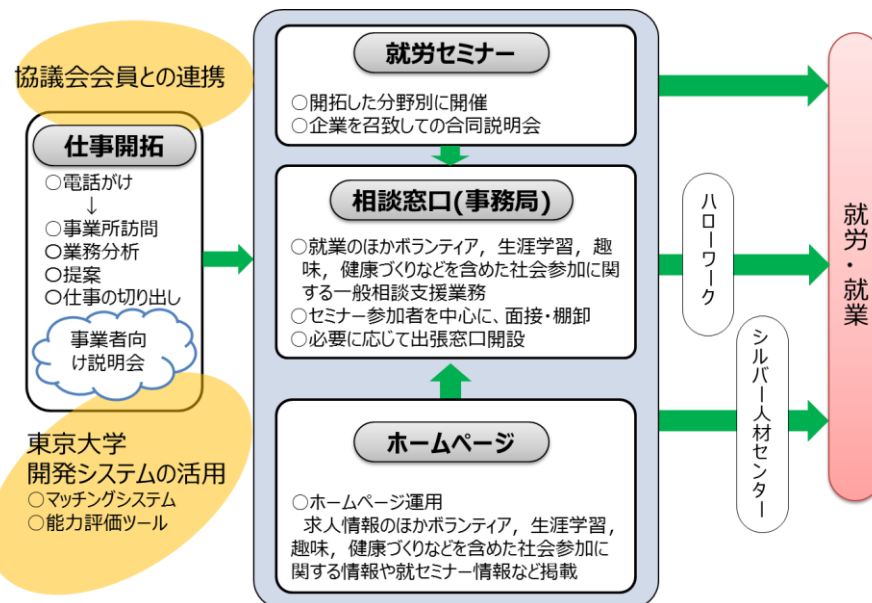
「入口」と「出口」をサポートする複合的アプローチ  
① 事業所啓発により高齢者のニーズにマッチした仕事を増やす＝「出口」戦略，② 高齢者を再教育し、仕事への再適応を支援する＝「入口」戦略を展開し、ハローワーク（無料職業紹介機能）とシルバー人材センター（請負・人材派遣・有料職業紹介機能）を補完する第3のエンジンを動かし、各会員が「地域課題」の解決に主体的に取り組み、有機的な協働を行っていく体制（柏市モデル）の確立し、日本の未来社会づくりに貢献していく

## 重点分野

- 福祉（子育て・介護・生活支援）
- 小売・サービス
- ものづくり（農業・製造業）
- 公共サービス

## 実績（H28.10～H29.3）

- 生涯現役窓口  
利用者 203名
- かしわ生涯現役ネット（WEBサイト）  
アクセス数 9,260件
- 生涯現役セミナー  
1期 73名 2期 38名 3期 29名 計 140名  
⇒進路決定者 就労22名



## 第7期プランの方向性(案)

### 2 高齢者の居場所づくり

○高齢者の居場所づくりに対する支援については、平成28年度から「月1型」・「週1型」・「常設型」の3タイプに整理しました。第7期プランでも引き続きサロンやコミュニティカフェの開設、運営に対する補助制度に取り組んでいきます。

市内の全ての日常生活圏域に常設型のコミュニティサロンの整備を進めます。

○「通いの場」の利用者及び担い手の健康への効果の検証方法を検討していく必要があると考えます。

○「通いの場」の担い手に過度の負担がかからないような、効果的な介護予防プログラムやメニューを提案、共有し、「通いの場」での活動内容の充実を目指します。

○老人福祉センターについては、「元気高齢者」が定期的集まる場所として、ふれあいサロンや通いの場の利用など、地域の介護予防拠点としてのあり方を検討します。



# 高齢者の居場所づくり

【老人福祉センター】



【ふれあいサロン】



【通いの場】



- ひとり暮らし高齢者や夫婦のみ世帯の増加に伴い、高齢者の孤立化防止が課題
- 健康寿命の延伸には、役割意識を持てることや社会参加が効果的

## ⇒ 居場所づくりが大切

- ・誰もが気軽に立ち寄ることのできる居場所を、高齢者が歩いていける場所に
  - ・興味を引き、新たな出会いを促すたのしい企画を
  - ・高齢者だけでなく、多世代が集える場所
- ※週1回以上開催している  
サロンやコミュニティカフェ

## 第7期プランの方向性(案)

### 3 フレイル予防の推進

○高齢者の健康づくりの新たな概念である「フレイル」を、第7期プランでは健康づくり・介護予防事業の推進の考え方の主軸におき、進めていくことが重要であると考えます。

○平成27年度から、フレイルの兆候に自ら気づき、自分ごと化するための動機付けとして作成された「フレイルチェック」を普及・実施しています。「フレイルチェック」では、チェックを行った個々への結果のフィードバックと合わせて、サロンや通いの場などが、介護予防に効果的な活動かどうか、といった評価にも有効だと考え、今後は市内サロン・通いの場等において、積極的な活用をすすめていきます。

○また、フレイル予防の考え方を柱に、市民・医療介護専門職・行政が連携し、身近な地域ぐるみで健康づくり・介護予防の活動を展開していくための調整を行う「フレイル予防プロジェクト2025推進委員会」を、28年3月に設置しました。

○第7期プランでは、「フレイル予防プロジェクト2025」の名の下に、これまで各部署や地域等でそれぞれ取り組んでいる健康づくり・介護予防の活動が連動するように、また、若い頃からの健康づくり活動と切れ目なく展開が図れるよう、庁内横断の取組を進めていきます。

# 柏フレイル予防プロジェクト2025

## 柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会

フレイル予防の普及・啓発と効果的な推進，地域における市民主体の活動の促進，フレイル予防に係る関係機関の連携・調整等について協議

事務局： 柏市（福祉政策課，福祉活動推進課）  
 柏市推進部署： 保健福祉部，保健所，生涯学習部，市民生活部  
 アドバイザー： 柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会、東京大学 I O G  
 委員： ふるさと協議会，社会福祉協議会，民生・児童委員，健康づくり推進員，スポーツ推進委員，健康づくり活動団体，東葛北部在宅栄養士会，在宅リハビリテーション連絡会，地域包括支援センター，学識経験者，柏市

### 官・民のフレイル予防活動の把握

事業の連携

資源・活動の見える化

事業の調整

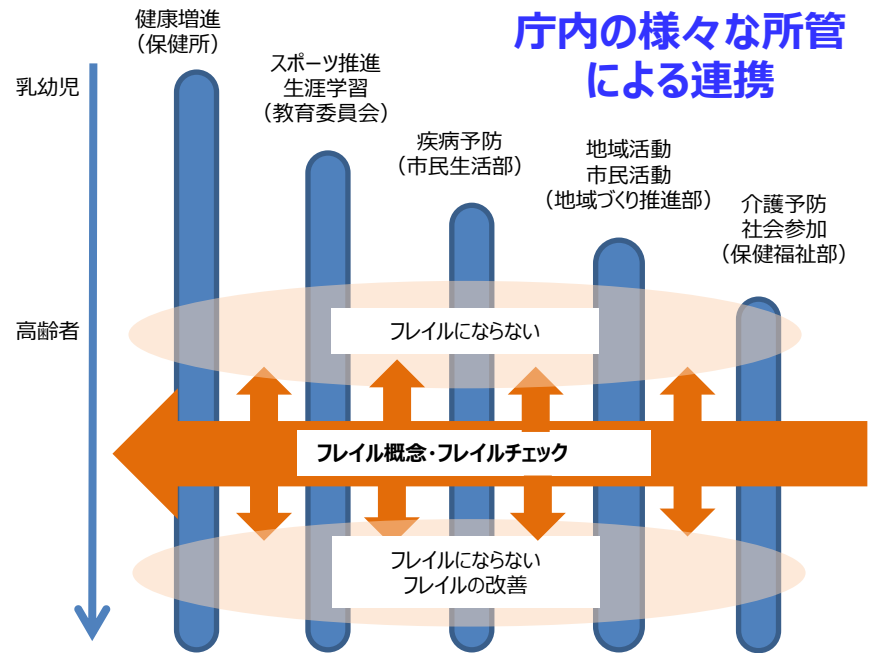
地域での市民の主体的活動の展開

ふる協  
(地区社協)

ふる協  
(地区社協)

ふる協  
(地区社協)

ふる協  
(地区社協)



数値化 → 活動評価 → 成果評価

フレイルチェック (気づき・自分事化)

フレイル予防サポーター

実践

再確認

栄養  
食・口腔機能

日常生活  
の活発化

運動

社会参加